



2026年3月期 第2四半期(中間期)
決算短信 補足資料
(2025年4月～2025年9月)

2025年11月7日



STANDARD
TOKYO

証券コード: 1905

会社概要	3～4ページ
2026年3月期 第2四半期決算の概要(連結)	5ページ
連結損益計算書の概要	6ページ
連結貸借対照表の概要	7ページ
連結キャッシュ・フローの概要	8ページ
売上高の推移(単体)	9ページ
売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)	10ページ
2026年3月期の業績予想(連結)	11ページ
2026年3月期の連結売上高予想	12ページ
2026年3月期の投資計画等について(単体)	13ページ
(ご参考)株価、配当金及び連結配当性向(2021年3月期～)	14ページ
(ご参考)連結業績推移(2021年3月期～)	15ページ
(ご参考)連結業績推移(10ヵ年)	16ページ

経営理念：人間尊重・技術志向・積極一貫

私達は、「信頼されるテノックス」として、これからも土や地盤と素直に向き合いながら、積極的に研究・開発を進めていくとともに、建築・土木構造物をお使いになれる全ての人々に、安全・確実な施工管理体制のもと、安心できる施工をご提供していくことをモットーに、お客様のご要望にお応えしてまいります所存であります。

本社	〒108-8380 東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 若尾 直
事業内容	・コンクリートパイル、鋼管パイルの販売及びその杭打工事の請負 ・地盤改良工事の請負
従業員数	（単体）222名（連結）388名 ※2025年9月30日現在
拠点	（営業所）北海道、東北、名古屋、大阪、中四国、九州の6ヶ所 （出張所）北東北、郡山、北陸の3ヶ所 （機材センター・試験研究室）東京機材センター
グループ会社	（連結子会社：国内）(株)テノックス技研、(株)広島組、大三島物産(株)（非連結）、(株)複合技術研究所 （連結子会社：海外）TENOX ASIA COMPANY LIMITED（ベトナム）

グループ会社名	事業内容
(株)テノックス (当社)	基礎工事に特化した建設事業及び建設資材の販売 〔主な工法〕 杭工法 : CP-X工法、TN-X工法、TN工法、 ガンテツパイル工法、NSエコパイル工法、 ATTコラム工法、 地盤改良工法 : テノキューブ工法、テノコラム工法、 格子状地盤改良工法(液状化対策)、 ピュアパイル工法
(株)テノックス技研	(株)テノックスの基礎工事の施工及び機材の賃貸
(株)広島組	基礎工事の施工
大三島物産(株) (非連結)	基礎工事の施工
(株)複合技術研究所	土木建築コンサルティング全般等に関する事業及び工事物件の斡旋
TENOX ASIA COMPANY LIMITED	ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

2026年3月期 第2四半期決算の概要(連結)



- 売上高: 北海道新幹線延伸事業の大型杭工事が減少
- 利益 : 施工効率の向上や契約条件の最適化などの取り組みにより増

■売上高	90億76百万円	前年同期比 $\Delta 30$ 億39百万円 ($\Delta 25.1\%$) ✓主に大型の杭工事が減少
■営業利益	4億54百万円	前年同期比 +11百万円 (+2.5%) ✓主に施工効率の向上や契約条件の最適化などの取り組みによる
■経常利益	4億42百万円	前年同期比 $\Delta 38$ 百万円 ($\Delta 8.0\%$) ✓主に為替差損を計上したことによる
■親会社株主に帰属する 中間純利益	3億4百万円	前年同期比 +10百万円 (+3.7%) ✓主に前年同期に特別損失を計上したことによる
■受注高	91億66百万円	前年同期比 $\Delta 34$ 億37百万円 ($\Delta 27.3\%$)
■受注残高	99億26百万円	前期末比 +1億84百万円 (+1.9%) ✓当期末の主な残高は道路や鉄道の土木杭工事

連結損益計算書の概要



(単位:百万円)

	2024/9 (上期)	売上高 比率	2025/9 (上期)	売上高 比率	前年同期比	
売上高	12,115	—	9,076	—	△3,039	△25.1%
売上原価	10,471	86.4%	7,321	80.7%	△3,150	△30.1%
売上総利益	1,644	13.6%	1,754	19.3%	+110	+6.7%
販売費及び 一般管理費	1,201	9.9%	1,300	14.3%	+99	+8.3%
営業利益	442	3.7%	454	5.0%	+11	+2.5%
経常利益	480	4.0%	442	4.9%	△38	△8.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	293	2.4%	304	3.4%	+10	+3.7%

連結貸借対照表の概要



- 流動資産：主に現金預金が減少
- 流動負債：主に支払手形・工事未払金等、未払消費税等が減少

(単位:百万円)

	2025/3末	2025/9末	前期末比	
流動資産	16,957	14,454	△2,503	△14.8%
固定資産	4,115	4,335	+220	+5.3%
資産合計	21,073	18,789	△2,283	△10.8%
流動負債	6,966	4,272	△2,694	△38.7%
固定負債	814	940	+125	+15.4%
負債合計	7,781	5,212	△2,568	△33.0%
純資産合計	13,291	13,576	+285	+2.1%
(自己資本比率)	(61.4%)	(70.5%)	(+9.1ポイント)	—

連結キャッシュ・フローの概要



(単位:百万円)

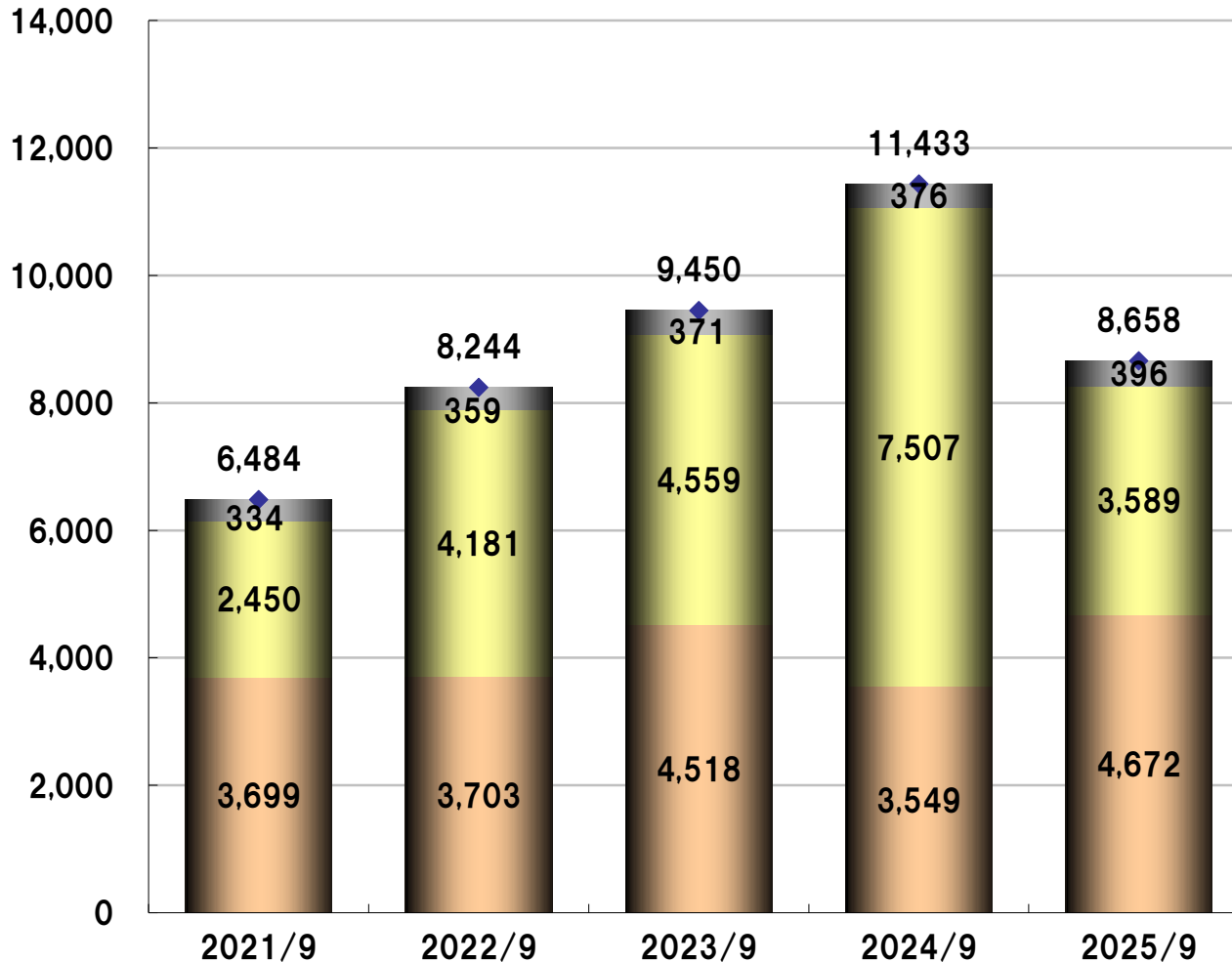
	2024/9 (上期)	2025/9 (上期)	当四半期の主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	+1,680	△1,428	売上債権及び契約資産の減少 +6億11百万円 仕入債務の減少 △19億55百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△427	△167	有価証券の償還による収入 +2億円 有形固定資産の取得による支出 △3億9百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△130	△197	配当金の支払額 △1億97百万円
現金及び現金同等物の 増減額	+1,024	△1,866	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	9,366	8,332	

売上高の推移(単体)



(単位:百万円)

■地盤改良工事 ■杭工事 ■その他 ◆計



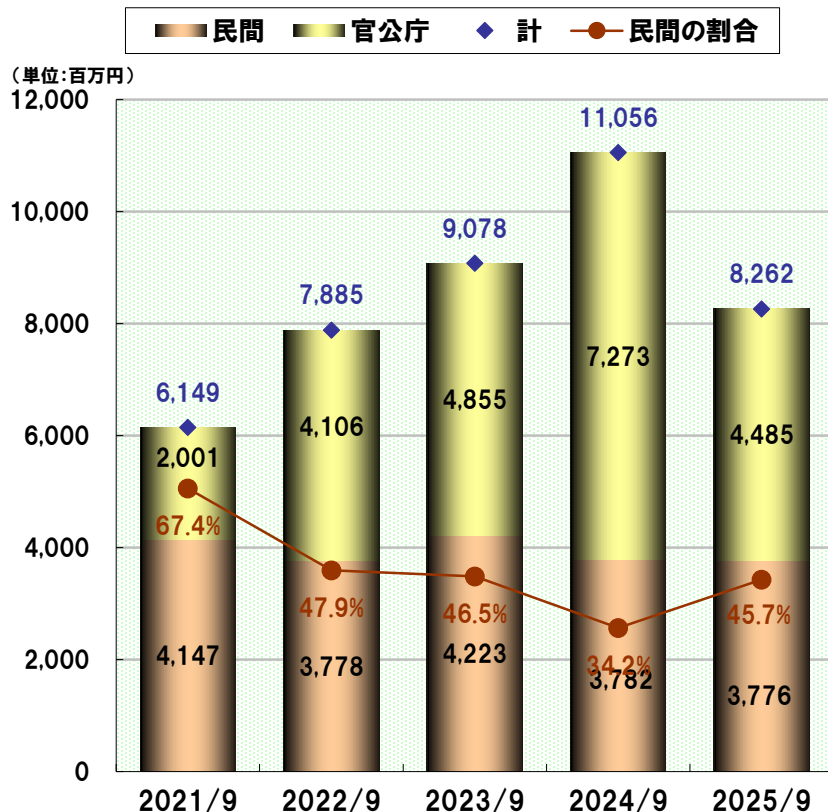
前年同期比 主な要因

- 杭工事:
主に、北海道新幹線延伸
事業が減少
- 地盤改良工事:
主に、物流施設や学校の
大型工事が増加

売上高[杭工事・地盤改良工事]の状況(単体)



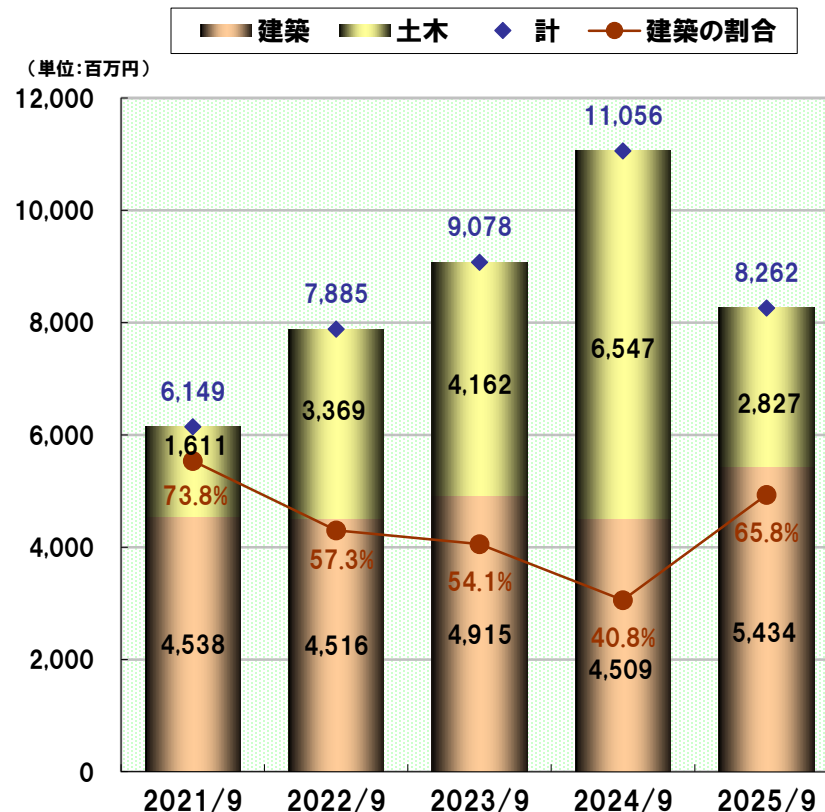
民間・官公庁の推移(単体)



前年同期比 主な要因

- 民間は、ほぼ前年同期と同水準
- 官公庁は、北海道新幹線延伸事業の杭工事が減少

建築・土木の推移(単体)



前年同期比 主な要因

- 建築は、物流施設や学校の地盤改良工事が増加
- 土木は、北海道新幹線延伸事業の杭工事が減少

2026年3月期の業績予想(連結)



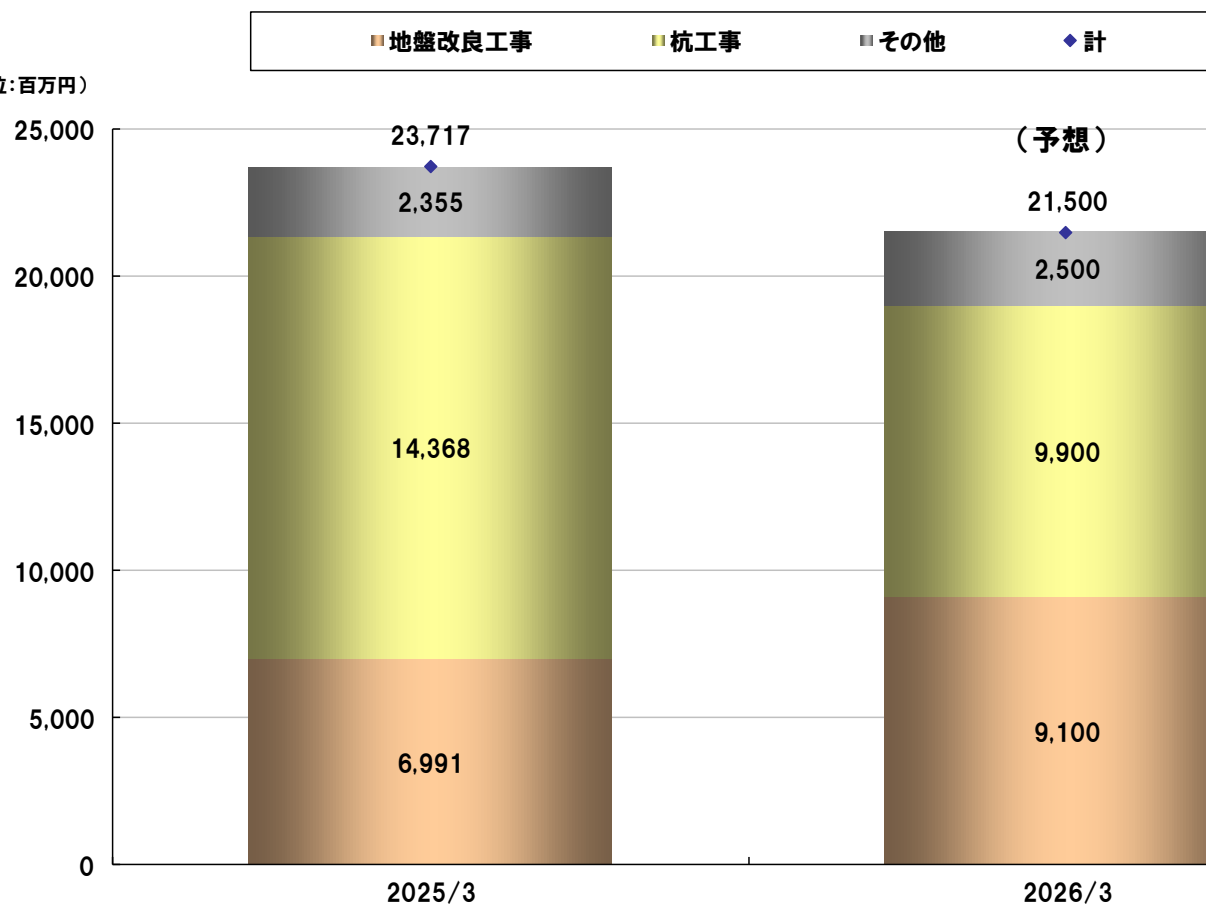
- 売上高: 土木は北海道新幹線延伸事業が減少。一方、建築は工場などを中心に地盤改良工事が増加。
- 利益 : トランプ関税の影響が懸念される。

■売上高	《予想》 215億円	前期比	△22億17百万円 (△9.3%)
■営業利益	《予想》 9億円	前期比	△2億15百万円 (△19.3%)
■経常利益	《予想》 9.5億円	前期比	△2億14百万円 (△18.4%)
■親会社株主に帰属する 当期純利益	《予想》 6.5億円	前期比	△99百万円 (△13.3%)

2026年3月期の連結売上高予想



(単位:百万円)



- **杭工事:**
北海道新幹線延伸事業が減少
- **地盤改良工事:**
主に、工場などの建設工事と液状化対策が増加

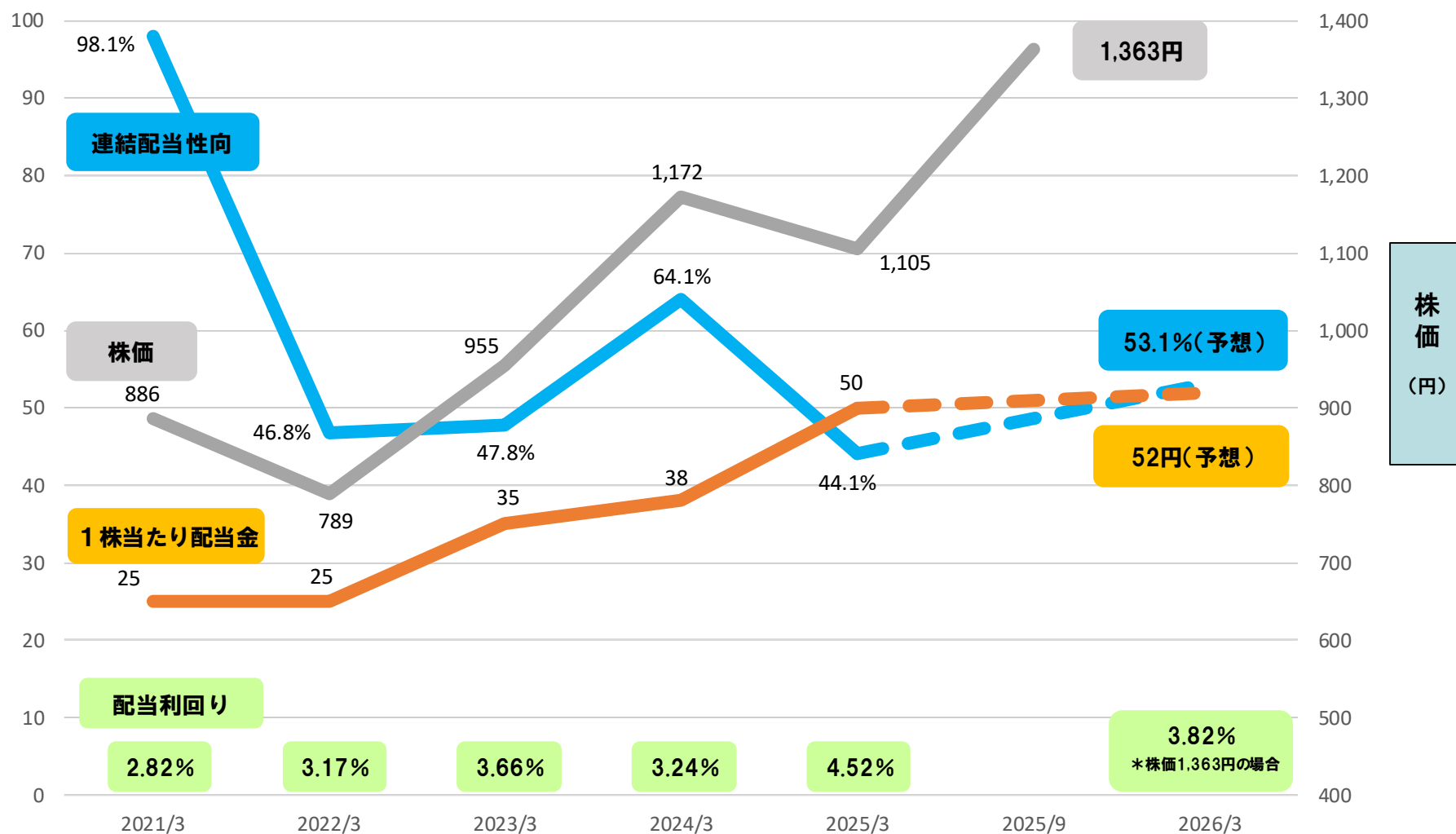
2026年3月期の投資計画等について(単体)



収益力の強化に資するよう、投資の最適化を図る

■設備投資額	《予想》 8億94百万円	前期比 +2億28百万円 (+34.2%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■減価償却費	《予想》 5億円	前期比 +20百万円 (+4.4%) ✓ 主に施工機械の買い換えによる
■研究開発費	《予想》 45百万円	前期比 △7百万円 (△15.1%) ✓ 主に研究所や大学との共同研究、新技術の開発
■従業員数	《予想》 217名	前期比 +2名

(ご参考) 株価、配当金及び連結配当性向 (2021年3月期～)



(ご参考) 連結業績推移 (2021年3月期～)



(単位:百万円)

(単位:百万円)

売上高

売上高

経常利益

親会社株主に帰属する
当期純利益

215億円
(予想)

9.5億円
(予想)

6.5億円
(予想)

経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0

2021/3

2022/3

2023/3

2024/3

2025/3

2026/3

(ご参考) 連結業績推移 (10ヵ年)



(単位:百万円)

	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3 (予想)
売 上 高	18,226	20,441	20,774	18,583	15,906	14,817	18,317	20,207	23,717	21,500
売上原価	15,432	17,877	18,121	15,570	13,816	12,461	15,553	17,373	20,093	
売上総利益	2,794	2,564	2,653	3,012	2,090	2,355	2,764	2,833	3,623	
販売費及び 一般管理費	1,732	1,815	1,700	1,873	1,781	1,888	2,111	2,312	2,507	
営業利益	1,062	749	953	1,139	308	466	653	520	1,115	900
経常利益	1,224	785	1,010	1,179	331	516	694	557	1,164	950
(売上高 経常利益率:%)	(6.7)	(3.8)	(4.9)	(6.3)	(2.1)	(3.5)	(3.8)	(2.8)	(4.9)	(4.4)
税金等調整前 当期純利益	1,214	748	1,015	1,208	311	527	732	604	1,134	
親会社株主に帰属する 当期純利益	886	523	640	768	173	357	482	388	749	650
(売上高 当期純利益率:%)	(4.9)	(2.6)	(3.1)	(4.1)	(1.1)	(2.4)	(2.6)	(1.9)	(3.2)	(3.0)
	2017/3 期末	2018/3 期末	2019/3 期末	2020/3 期末	2021/3 期末	2022/3 期末	2023/3 期末	2024/3 期末	2025/3 期末	2026/3 期末(予想)
純 資 産	11,021	11,393	11,636	12,195	12,215	12,300	12,467	12,689	13,291	13,600
総 資 産	16,780	17,992	16,766	18,667	18,163	17,681	18,770	19,066	21,073	21,300

2018/3期末残高は、「税効果会計に係る会計基準」の一部改正を適用しており、科目を組み替えております。

環境と共存し、確かな技術力で
社会と暮らしを支える



ホームページ: <https://www.tenox.co.jp/>

お問い合わせ先: 企画部 広報IRグループ

https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/

電話: 03-3455-7787